

2

もしも 和ちゃん が異世界 に行ったら

If Nagomi-CHAN went to
another world

おぎやだ
ogyadya

弾所製
岡精謹

ADULT ONLY

R18

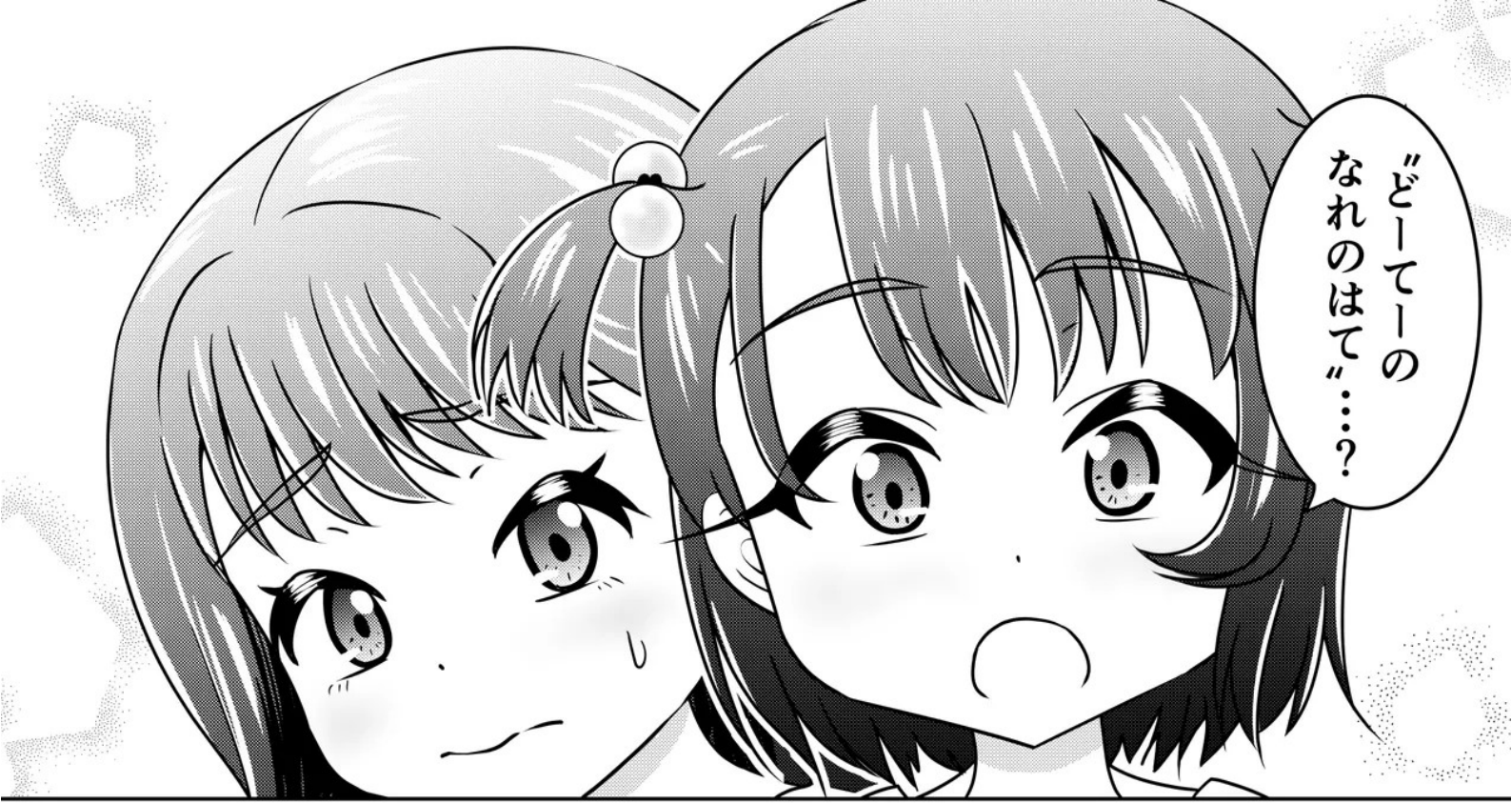
◆成人向け◆



MIRAN-CHAN



NAGOMI-CHAN

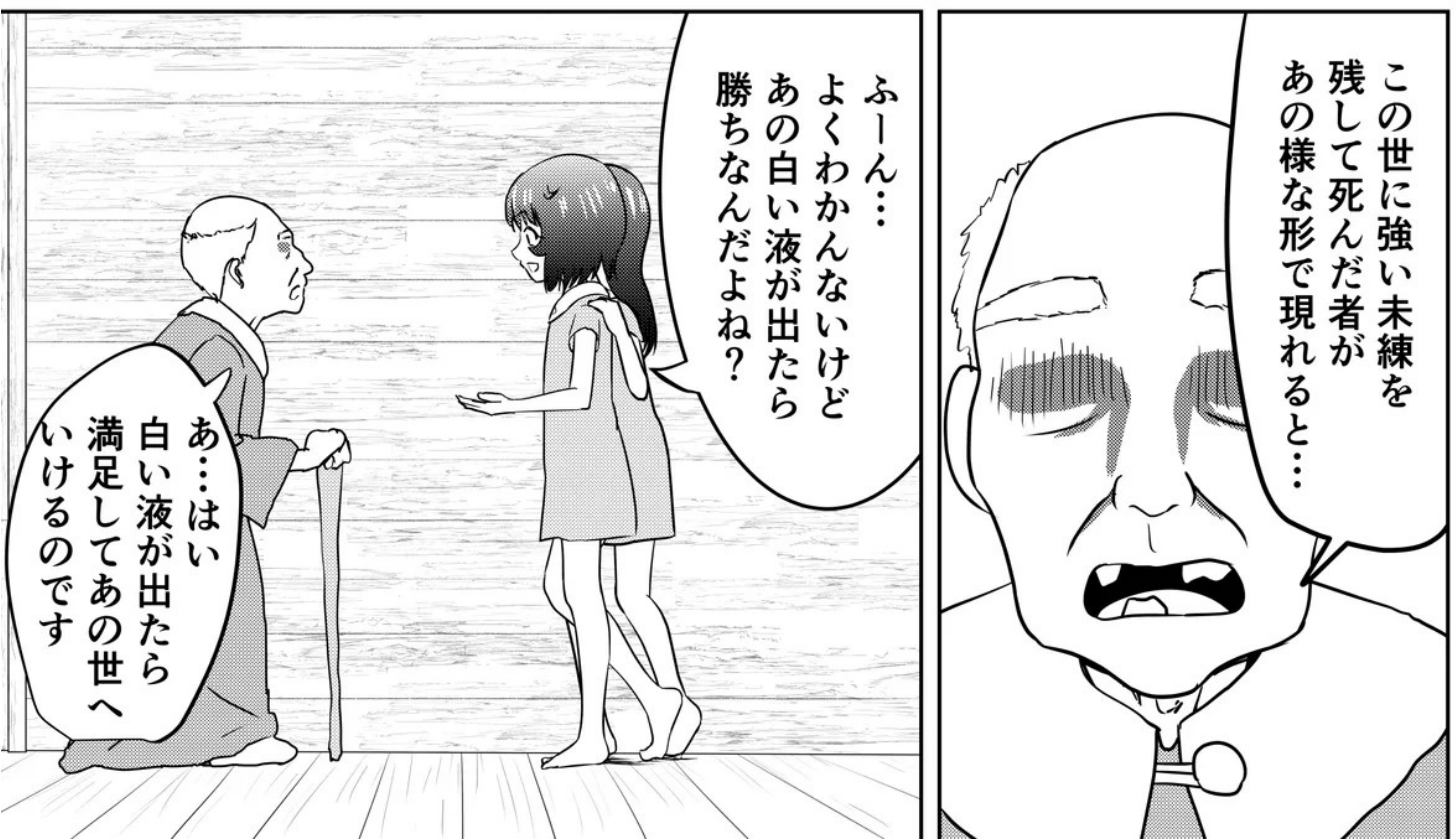


“どーてーの
なれのはて”…？



それがあの
ウネウネしたやつ
の名前なの？

はい
昔から
そう呼ばれて
おります

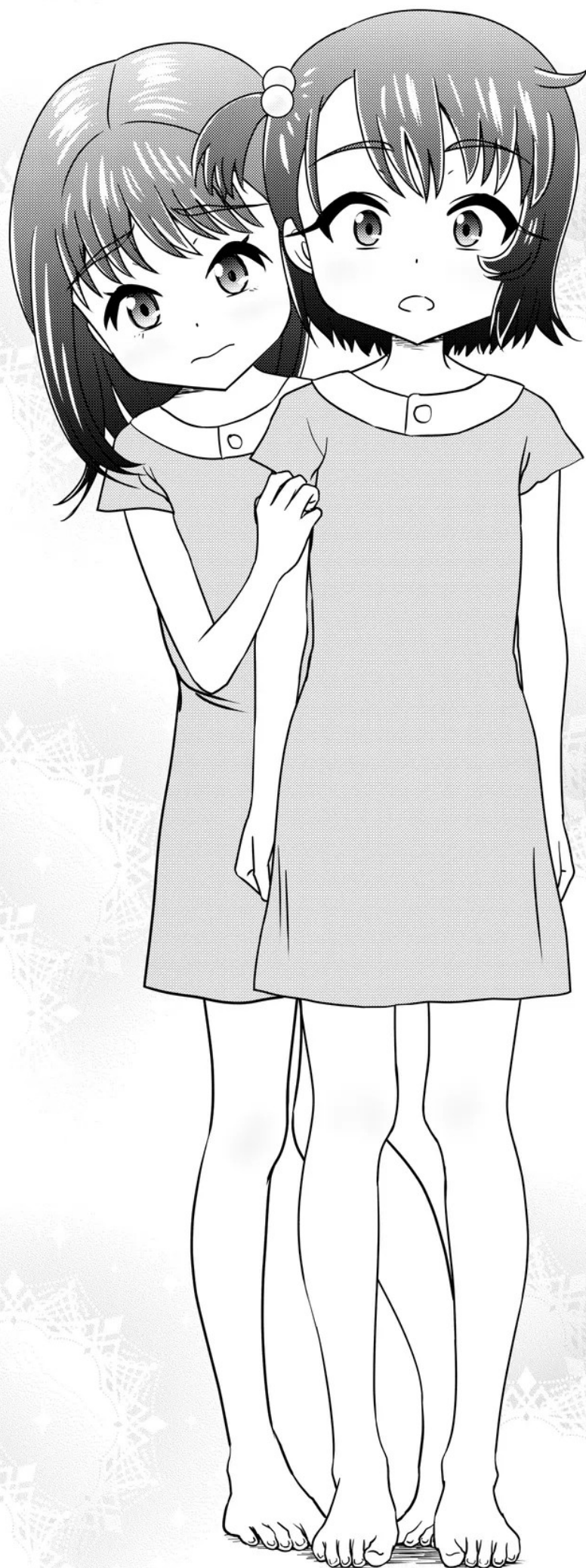


この世に強い未練を
残して死んだ者が
あの様な形で現れると…

ふーん…
よくわかんないけど
あの白い液が出たら
勝ちなんだよね？

あ…はい
白い液が出たら
満足してあの世へ
いけるのです

そしてそれが
できるのはあなた様方！



“聖女様”だけなのです！

そして
“童貞の成れの果て”が
全ていなくなれば
元の世界に帰れるので
ございます

これは以前にも
あったことですので
間違いありません

じゃあ
とっととやっちゃおう！

え!?

バ
ッ

ん？
どうかした
美蘭ちゃん？

いや…だって
和ちゃん

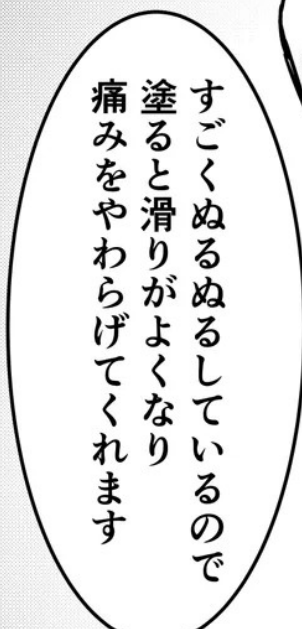
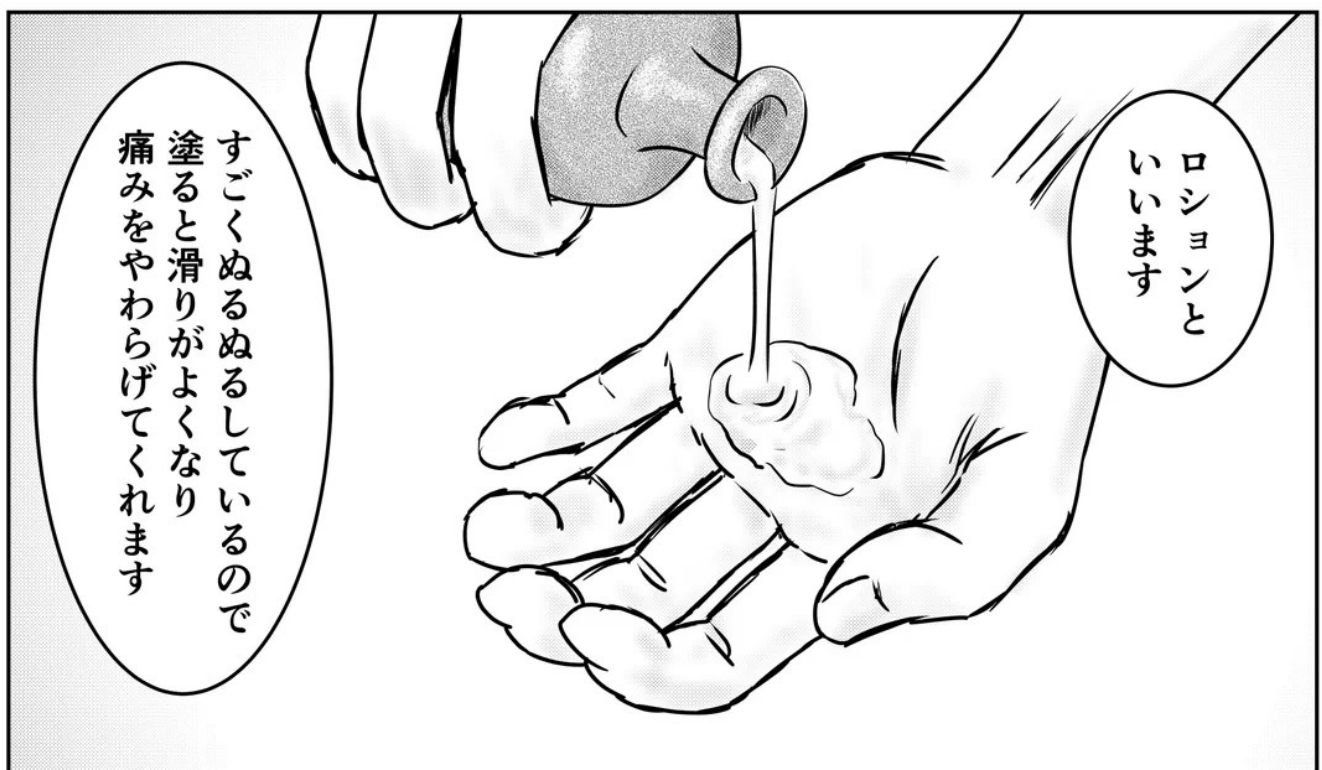
同じこと…
するんだよね？

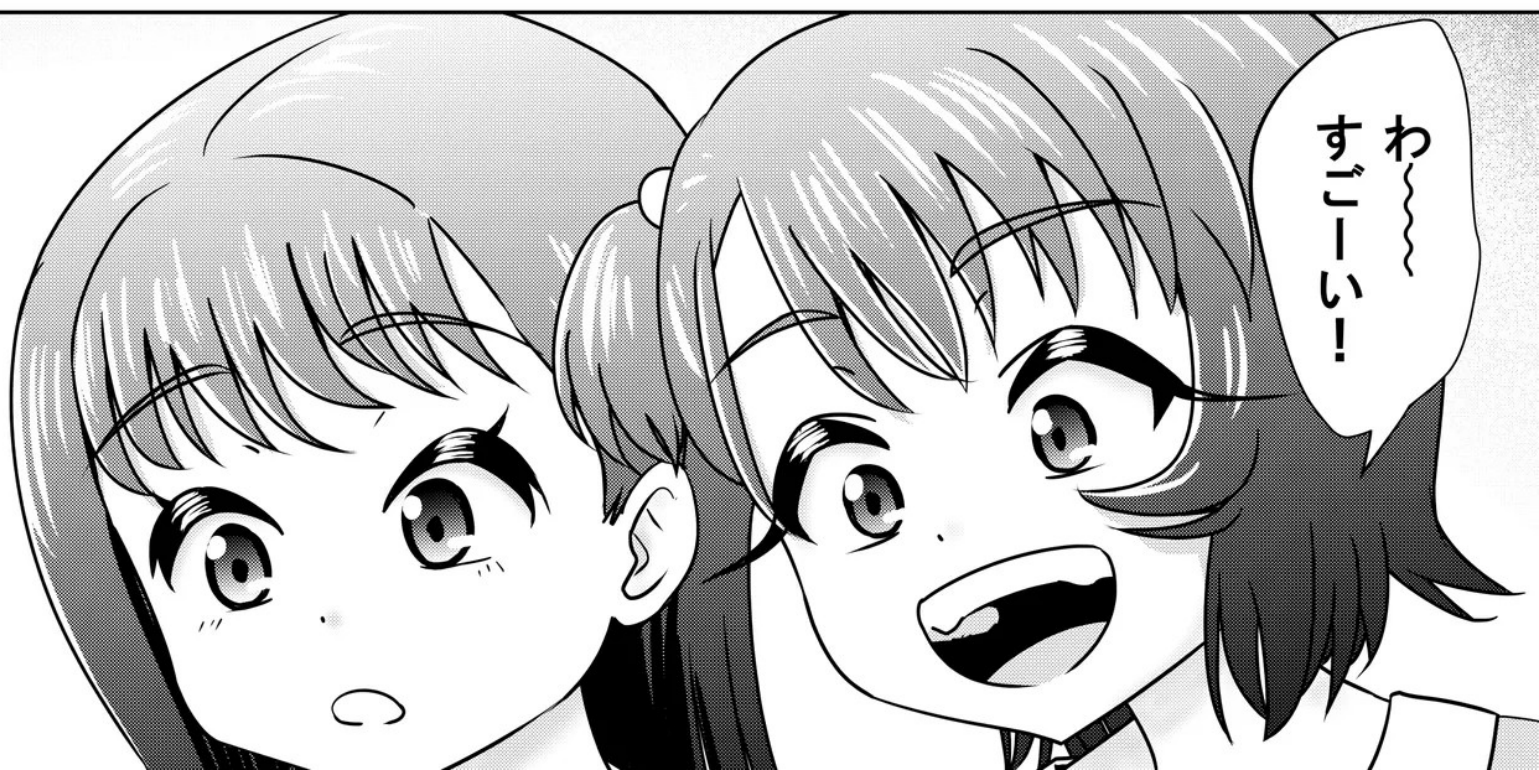
その…
い痛かったし…

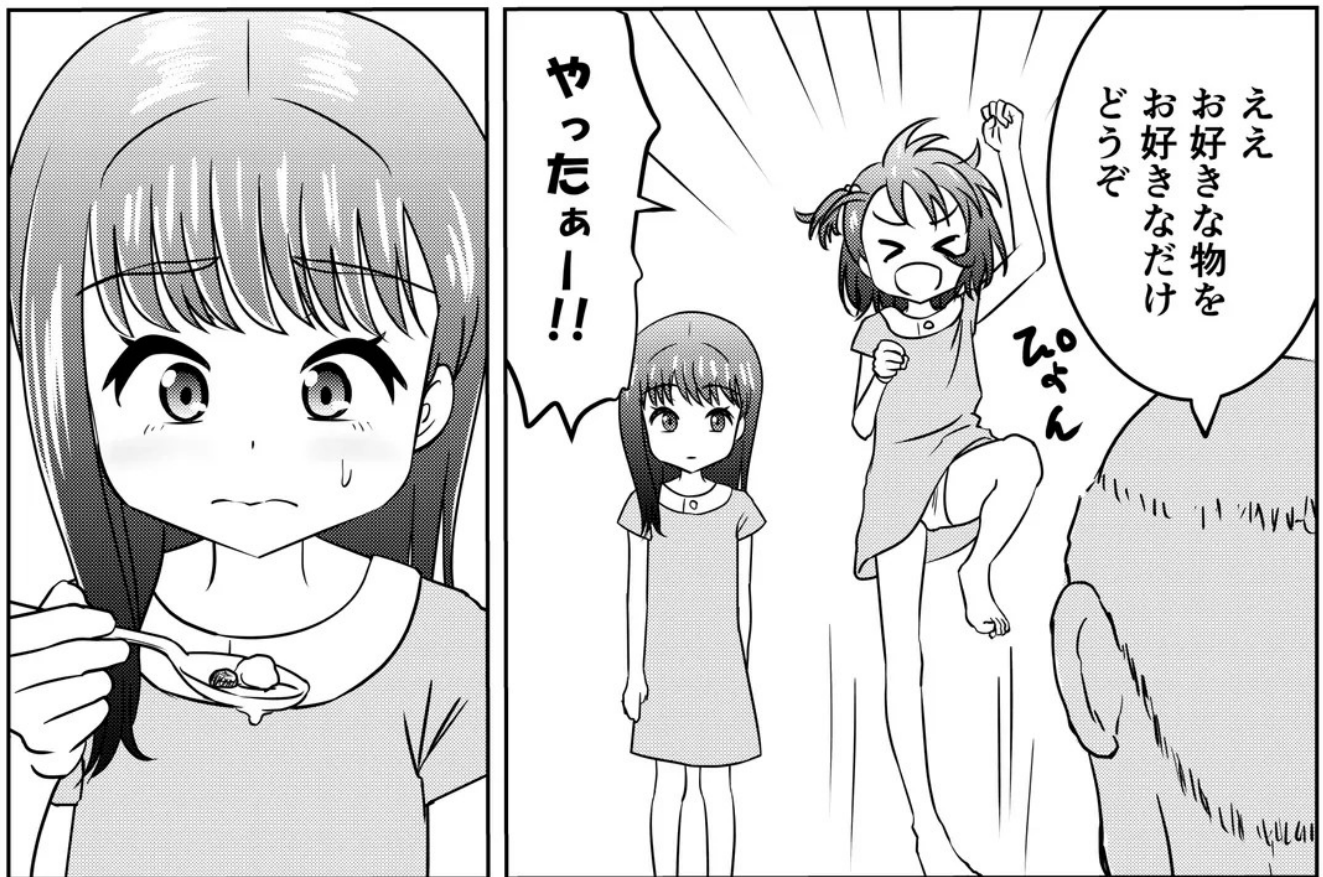
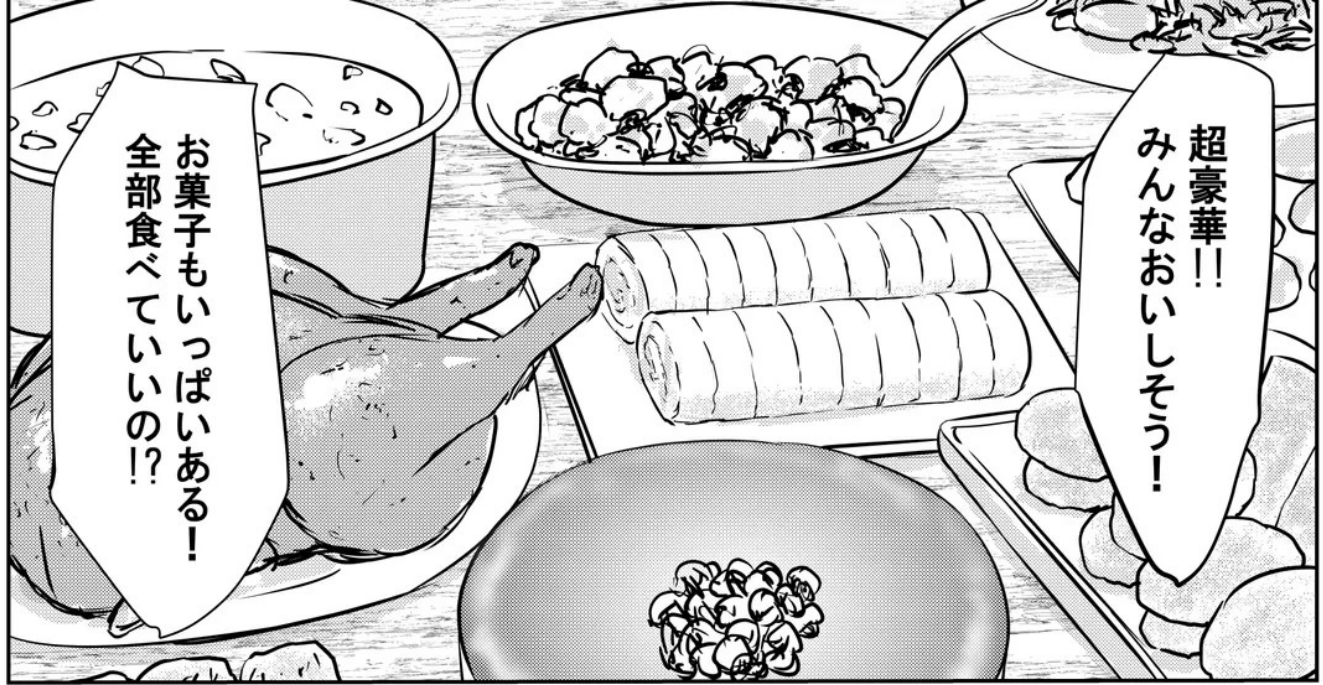
あっ
そっか！

まんこに
入れなきゃだめなの？

そうですね
それが1番効果的
だそうでございます









美蘭ちゃんは
いつここに来たの？

え？えっと…
昨日だよ

魔法使いじゃ
ないの？

帽子とか杖とか
持ってたし

ち…違うよ！
服はここで
借りたの
汚れてたから

杖っていうか
あれはただの木の棒
なんだけど…

最初の場所に戻ったら
日本に帰れるかなって
思ってたから
和ちゃんがいて

助けなきゃって
落ちてた木の棒を
拾ったの

そうだったんだ

すごかったね
カッコよかったよ

そ…そう？

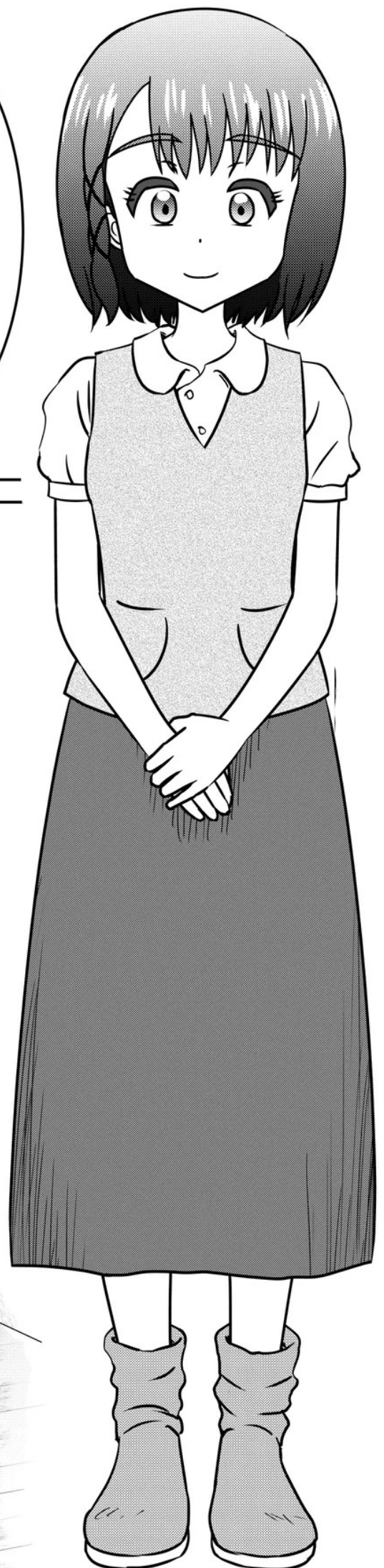
でもよかった
和ちゃんと会えて

1人で
どうしようかと
思ってた…

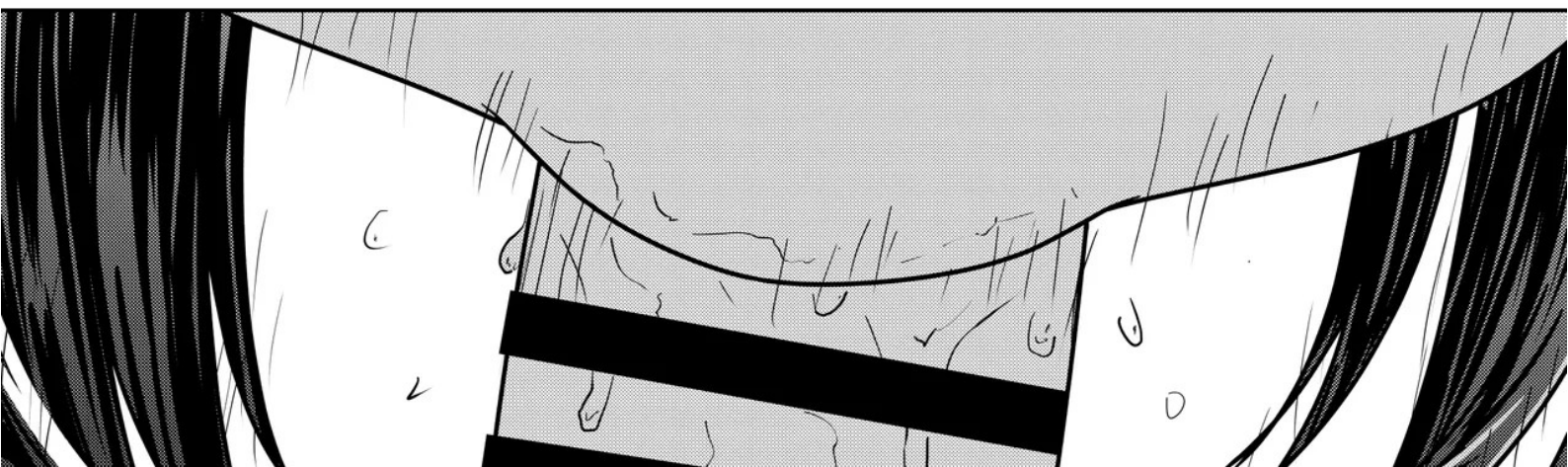


がんばって
日本に帰ろうね！

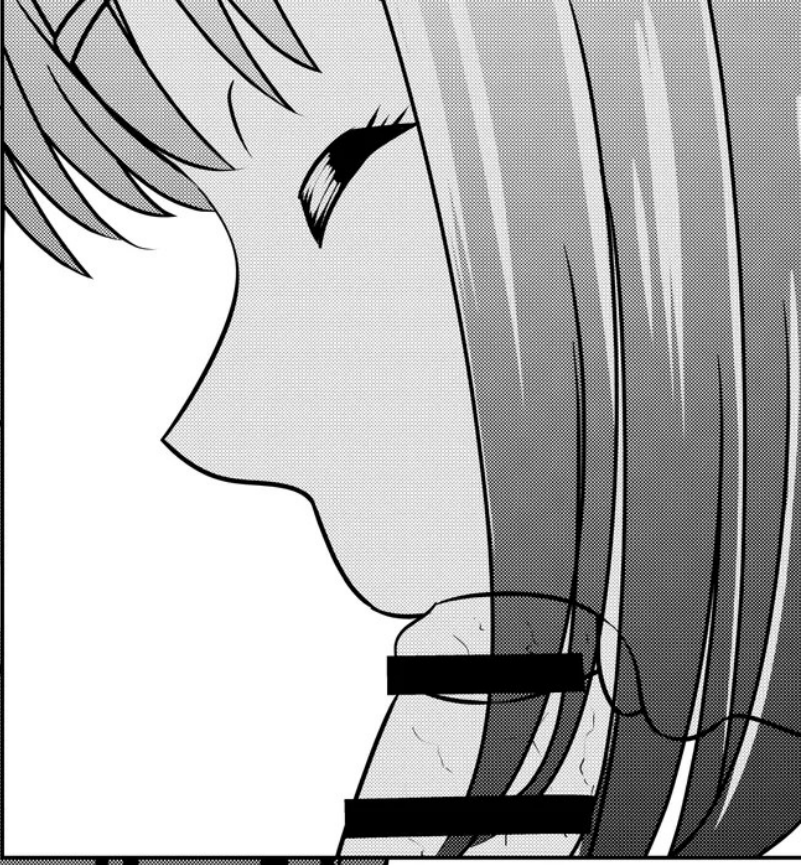
うん…



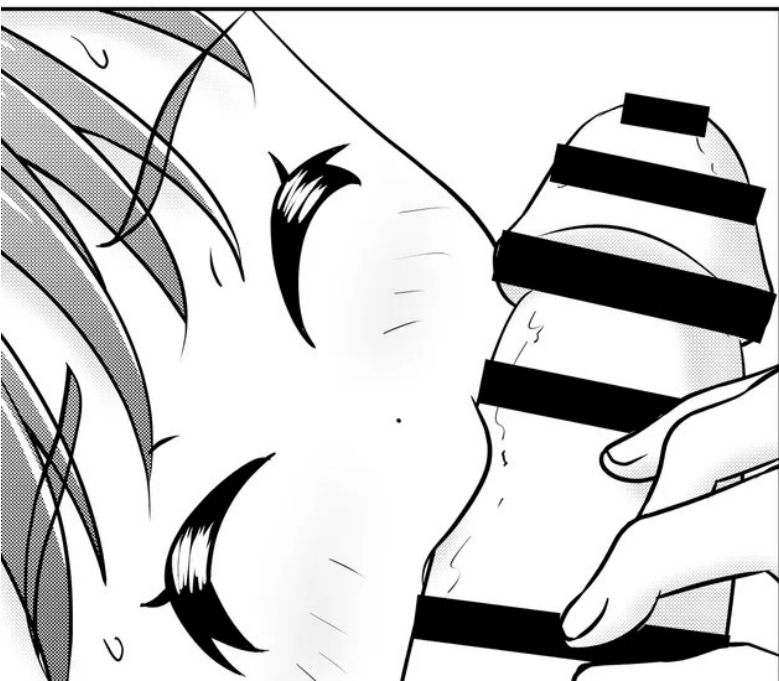


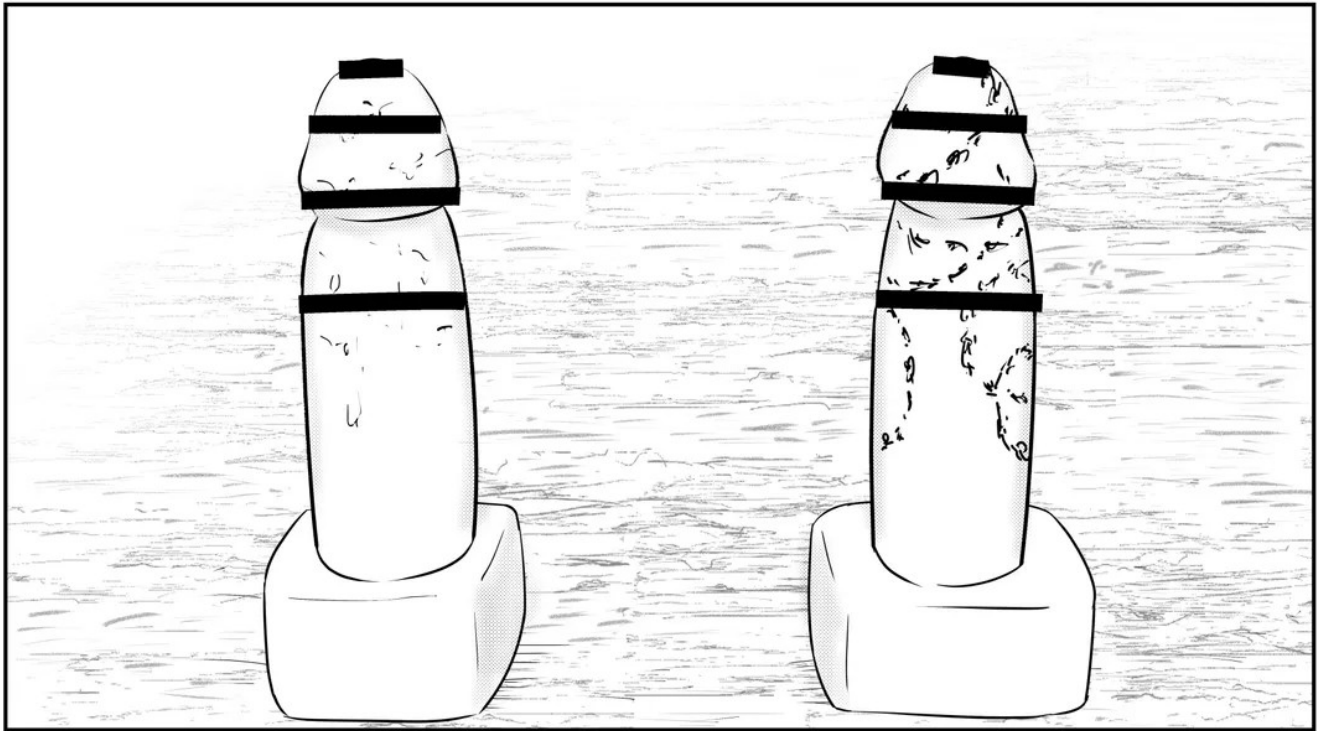












みらん様は拙いながらも
とても丁寧で良かったので
もっと練習して
いきましよう



なごみ様は
別のやり方を
勉強しましよう

では場所を変えて
先ほどのロションを
使った説明を
しますね

服は汚れると
いけないので
全部脱ぎましょう

ロションは
ここに塗ります

おまんこ！

そうですね
今から塗って
ぬるぬるにしますね

あれ？
ハリナ先生！

もうぬるぬる…
ていうか
びしょびしょ？

え？

あっ！！

べっちゃああ



かああああ

こ...これは
じ...実は先に
塗っておいたんです
実は...

け...けど
最初から
塗るところから
やりますね!

これくらいを
手に取って

周りにたっぷりと
塗って

それから
中にも少し
指を入れて塗ります

くちゅ

くちゅ

んっ

それでこれに
ぬるぬるを付けながら

クチュ

ちよつとずつ
中に入れてえ

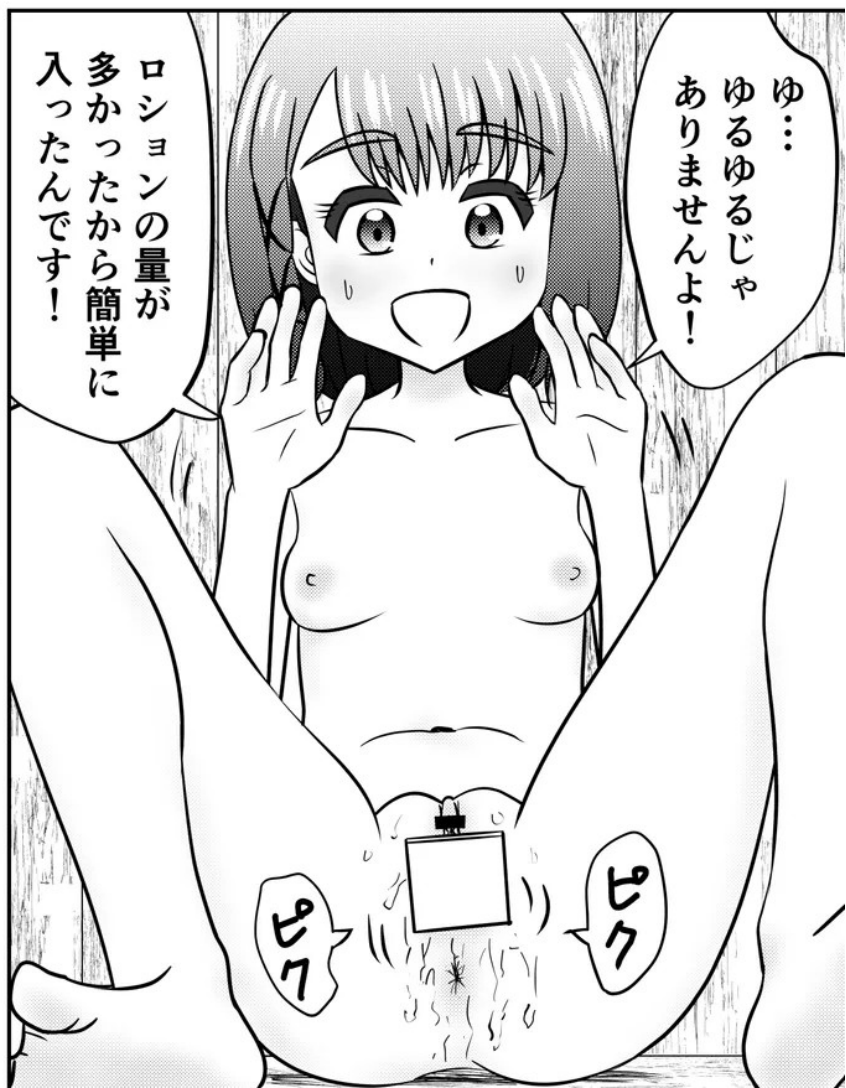
クチュ

あっ

んっ

んんっ!!

ズッパン





こんな感じかな？

ニクッ

ニクッ

チュッ

あっ簡単に
入った！







はい…

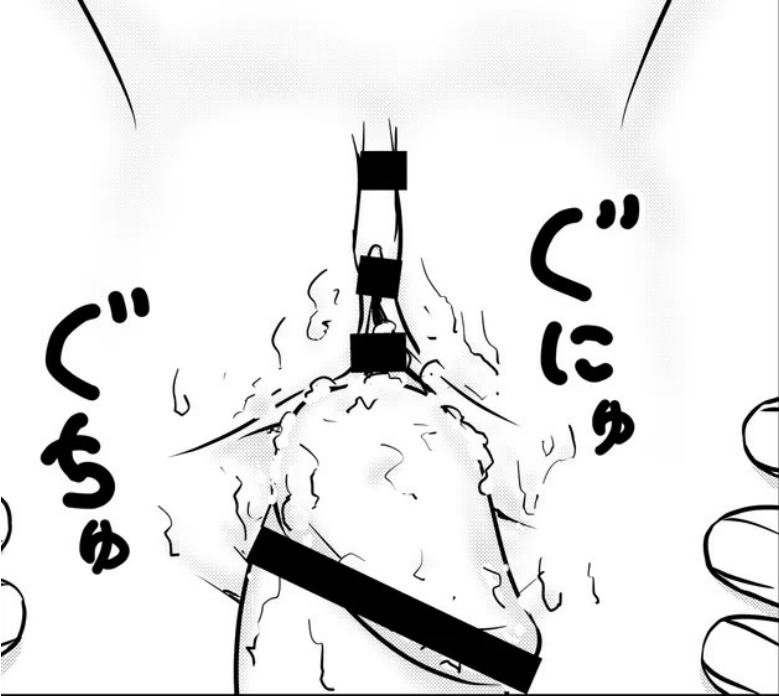
しっかりと
拡げて
くださいね



にちゃ

にちゃ

たっぷり
ロションを付けて





ゲニッ

チュ
チュ
チュ

ウ
ウ
ウ
ウ

!!

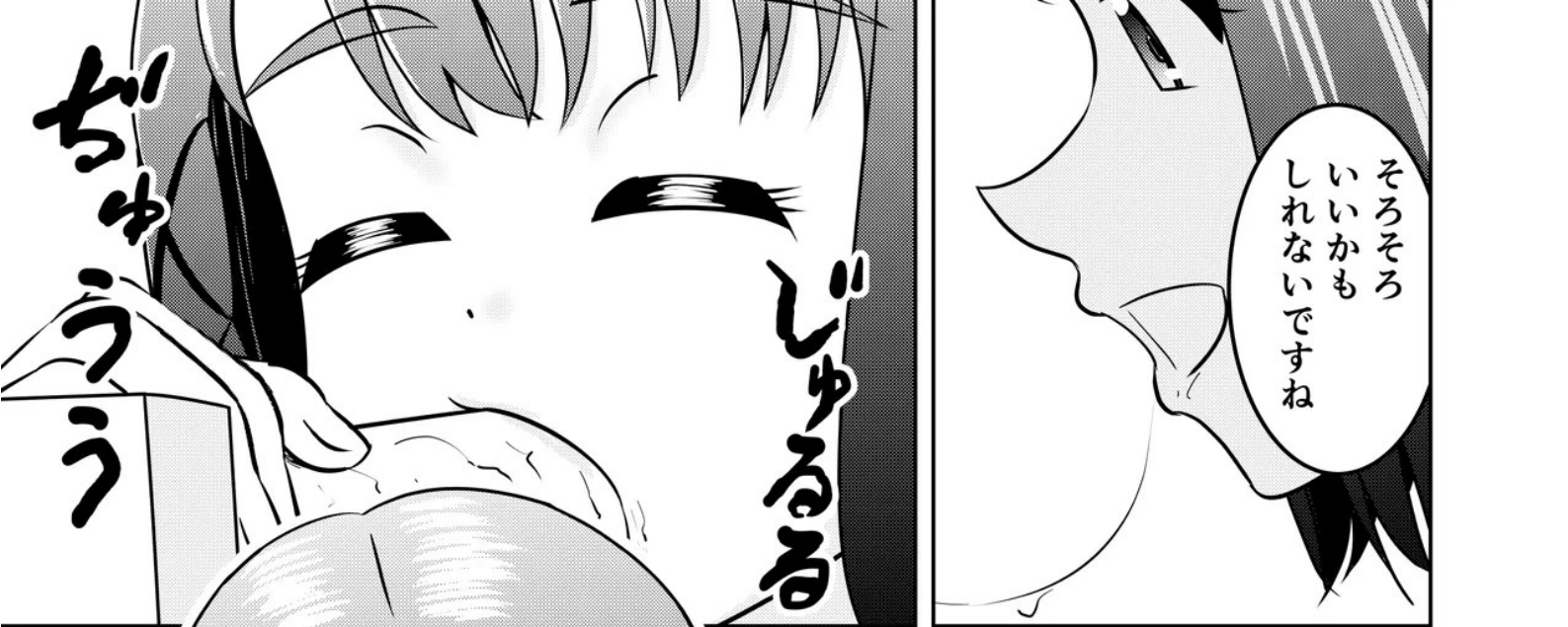
気にせず
このまま
任せてください

大丈夫
汚くなんて
ないです

そそそんなとこ
汚いです!

う
う











ふあッあッあッ

ゴクッ

ゴクッ

キョウ

ウウ

ウウ



ダメ...!

あっ...もう!

か
か

あああ







To be continued...

ボツ下書きのコーナー

ご購入＆最後まで読んでいただきありがとうございます！
前巻に引き続きボツ下書きのコーナーをお届けします。
お楽しみいただけたら何よりです。



◆本編32ページ目◆

3コマ目について当初は3人の位置関係とそれぞれが何をしているかわかりやすいようにと上から見下ろしたアングルにしていた
しかし左上などがすごくスペースが空いてしまったのとハリナ先生の左手・足が
下のお尻の絵とかぶってしまいすごくバランスが悪く感じたので何度か描き直し
この形になりました
かなり時間が掛かったページです



◆本編34ページ目◆

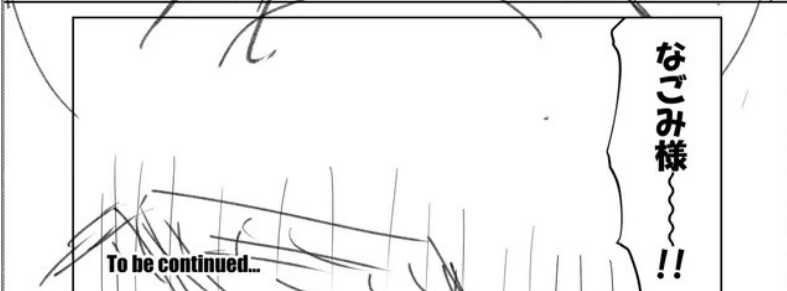
下書きでは正面を向いていた美蘭ちゃんですがここに来るまでに何枚か正面の絵を描いていたしクライマックスということでもうちょっと躍動感というか身をよじっているような感じを出したいと思い描き直しました

また左下は最初はハリナ先生の絶頂シーンを入れる予定でした(美蘭ちゃんがメイン ハリナ先生はおまけくらいのつもりで)ただ描き進めていくうちにハリナ先生を気に入ってきたので丸々1ページを使用してハリナ先生の絶頂シーンを入れることにしました



◆本編35ページ目◆

前述の通り当初は描く予定のなかったページです
前のページの下書きで存在していたハリナ先生の顔を上に大きく描いています
またさらに足裏を追加しより動きが出るように意識しました



◆本編38ページ目◆

1 番の違いは和ちゃんの下半身があるかないかです
描くか描かないかでかなり悩みましたがなしにしました
理由は画面が狭くなる気がしたのと下書きの絵ではアングルとして
間違っているようなすごく違和感を感じてしまったためです

最後までお付き合いいただきありがとうございました！

